

愛寿会 たより

11 月号
第 101 号
平成 19 年
11 月 1 日発行



【 秋の味覚 きのこ（ハナイグチ） 】

優しい笑顔との出会い

七年ほど前から年二回、春と秋のお彼岸に仁生園で法話をさせていただいております。当初は私が法話をするだけでしたが、現在はもう一人の僧侶と共に法話とご詠歌を組み合わせ、入所者の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしています。

初めのうちは入所者の皆さんの前に出ると緊張してしまい、聞く方も疲れるような稚拙な法話でしたが、今ではリラックスして一人ひとりのお顔を拝見しながら話ができるようになりました。話の内容はまだまだですが、入所者の皆さんや職員の方々に支えられ、なんとか続けることができました。これからも精進を重ね、機会がある限り法話をお勤めしたいと念じております。

ところで、仁生園で法話をしていると感じるのは入所者の皆さんの笑顔が素敵なことです。その優しい笑顔を見ているうちにこちらの心も穏やかに癒されてきます。いつの間にか法話をしている私が入所者の皆さんから大きな力をいただいて元気になって

北杜市高根町

養福寺住職

北村 学爾

いるのです。

もちろん、その笑顔の影には職員の方々の努力やご家族の愛情があるのだと思いますが、同時に入所者の皆さんが長い間に積み重ねられた経験によるところも大きいのだらうと感じます。若輩の私には想像もできないほど厳しく、苦しい時代を生き抜いてこられた方々だからこそ、相手の心を癒すような素敵な笑顔を見せることができるのでしよう。

老人の「老」という字は「歳をとった」という意味ですが、そこから派生して、歳をとることによる知恵の意味にもなりました。私たち僧侶の世界でも「老師（ろうし）」という言葉がありますが、これは年老いた僧侶という意味ではなく、厳しい修行を積み、悟りの域に達した僧侶に対する尊称であります。

残念ながら現在の日本では「老」という字にあまり良いイメージは無いように思います。確かに歳をとるということは体力的には衰えることもあるでしょう。生活の面でも不都合なことが出てくるかもしれません。しかし精神的な面ではそれぞれの人の完成期、実りのときを迎えているのです。混迷を深める今こそ経験豊かな年配の皆さんを敬い、その体験や智慧に耳を傾けるときではないでしょうか。

料金後納
郵便

申子小包

差出人(差出発送代行)

7-4

佐川物流サービズ(株)

返送先: 〒140-0012

品川区勝島 1-1-1

このお荷物には依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

― 理事会 ―

第百七十回理事会が開催されました。

一、上半期事業報告について

愛寿会が運営しています七事業について、上半期の実績と課題等それぞれ報告されました。

ア 介護保険事業

一 特別養護老人ホーム

平均ベット稼働率

昨年 97.8% ↓ 今年 98.0%

二 ショートステイセンター

平均ベット稼働率

昨年 8.02名 ↓ 今年 8.36名

三 デイサービスセンター

利用者総数

昨年 2309名 ↓ 今年 1904名

四 グループホーム「やすらぎ」

利用者総数

昨年 1625名 ↓ 今年 1642名

五 介護相談センター

相談件数

昨年 205件 ↓ 今年 196件

イ 老人保健事業

六 生活支援ハウス「こあらま」

入居者日数

昨年 1403日 ↓ 今年 1281日

ウ 障害者自立支援事業

七 第二仁生園

① 施設入所支援事業 1238日

20名入所（十月一日現在）

② 日中活動支援事業 906日

③ 短期入所支援事業 4日

④ 相談支援事業 42日

二、規程の変更について

旧館（二班）の模様替え工事によりましてショートステイを増床することができました。 十三床 ↓ 十九床

三、補正予算について

第二仁生園が完成しましたので、建設会計から一般会計に移行しました。

四、発展計画経過報告について

平成十七年一月より進行了ました愛寿会発展計画は「第二仁生園の建設」「二班改修工事」を終えることができました。以後、「旧館屋根改修」「第二仁生園作業棟建設」が数年間の内に進められることとなっております。



【 理事会の様子 】

― 第二仁生園 誕生会 ―

十月十日（水）午後三時から九月・十月生まれのお二人の誕生会を行いました。

笑顔の写真とお祝いのカードが、それぞれにプレゼントされ、用意されたバスディケークのローソクの火をお二人で頑張って消していただきました。

ケーキをいただいた後、「武田節」の合唱と踊り、さらに利用者から「キューティーハニー」や「夜空」の歌の披露（これがプロ級）があり、大変盛り上がった会となりました。

今後とも、利用者の方々が日々の生活を充実して過ごしていただけますよう職員が協力し、家庭の温もりを感じるケアを目指していきます。

みな様も、誕生会にぜひ参加してみませんか、そして、利用者の方を祝ってあげてください。

お待ちしております。



【 盛り上がった誕生会 】



【 園児との触れ合いを楽しむ入所者の方々 】

わかば保育園
 九月二十七日（木）、高根町「わかば保育園」の園児のみな様十三名が、来園されました。参加された入所者の方々は、かわいらしいお遊戯や元気な歌声に笑顔と拍手で応えておられました。
 催し物が終わった後も、肩たたきをしながらお話をしたり、園児のみな様からプレゼントをいただいたりと、とても楽しいひと時を過ごされました。
 わかば保育園のみな様、本当にありがとうございました。



【 生徒のみな様による合唱 】

小泉小学校
 十月二日（火）、小泉小学校の3年生と5年生のみな様二十一名が、来園されました。合唱や組体操、ソーラン節など多彩な催し物が行なわれました。
 組体操では、心配そうに見守る入所者の方々がとても印象的でした。また、竹とりという珍しい遊びも披露され、生徒のみな様の真剣な表情から練習の成果をうかがいとりることができました。
 小泉小学校のみな様、たくさん催し物をしていただきありがとうございました。



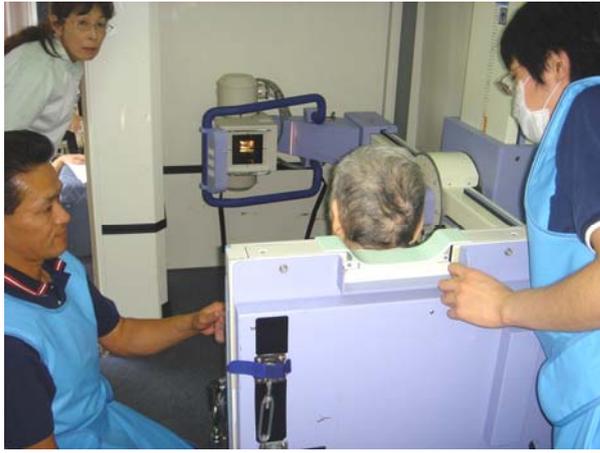
【 美しい音色を奏でるハンドベル 】

帝京第三高校
 十月三日（水）、帝京第三高校の二年三組のみな様三十五名が、来園されました。ハンドベルの演奏や、とても好評だった「やまんば」の紙芝居などたくさん催し物をしていただきました。
 唱歌「ふるさと」の合唱の時には、入所者の方々は学生の方との触れ合いをとっても楽しんでいらつしやいました。
 入所者代表による挨拶で幕を閉じ、車椅子や歩行器、シルバーカーで各フロアーへの誘導を体験していただきました。
 帝京第三高校のみな様、楽しい時間をありがとうございました。

レントゲン撮影

十月五日（金）、当園内において結核の予防を目的としたレントゲン撮影を行いました。特別養護老人ホーム及びびグループホームの入所者の方を対象に、全員の撮影を終えることができました。

今後も、みな様が毎日元気に生活していただけるよう、健康維持に努めていきたいと思えます。



【 順序良く進む撮影 】

ご家族のみな様にお願

ご登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更または更新がある場合には、仁生園までご連絡のうえ提出ください。

担当 相談員 坂本 仁

防災訓練

去る十月十二日午前十時から、実践的な総合防災訓練を実施いたしました。

今回の訓練では、非常通報訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練を行ない、その後、長坂消防署のご指導をいただきながら消火器を使った初期消火訓練とAEDを使った応急救護訓練を行いました。

訓練に参加した職員は、改めて避難の大変さを実感したのではないのでしょうか。この訓練で得た緊張感をいつまでも忘れずに、自衛消防隊の役割をしっかりと認識し、消火設備の使用法、応急救護の方法等、非常事態に備えていきたいと思えます。

最後に、お忙しいところをご指導いただきました長坂消防署のみな様には厚く御礼を申し上げます。



【 防災の心構えをご指導いただきました 】

ご芳情（十月一日～十月三十一日）

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
- ・レクボランティアゆずっこの会 様
- ・北杜市 山鳩の会 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 小野寺 毅 様
- ・北杜市 藤森 勲 様
- ・北杜市 中山 三雄 様

利用者状況（十月末現在）

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十二名
デイサービスセンター	六十四名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	六名
第二仁生園	二十四名

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340